

長崎大学と より幅広い連携強化へ



今後の連携が期待されます

4月4日、長崎大学と長崎市が包括連携協定の締結式を行いました。これまでも核兵器廃絶への取り組みなど個別の事案ごとに連携して取り組んできました。今回の協定により、今後さらに幅広い分野での連携・協力をすすめていくことを約束しました。また、同協定に基づく第1弾の取り組みとして、コンベンションの誘致と開催に関して、連携・協力する覚書を締結しました。今後、コンベンション施設の整備検討などについても双方でノウハウを共有していきます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)
観光政策課(☎829-1152)

高島北溪井坑跡地区が景観形成 重点地区に指定



景観形成に重要なものとして保護されます

4月1日、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである高島炭坑の高島北溪井坑跡地区が景観形成重点地区に指定されました。あわせて、三菱重工業(株)長崎造船所関連の5資産が景観重要建造物に指定されました。今後、自然環境と調和した景観形成を推進します。

■問い合わせ まちづくり推進室(☎829-1177)

新たな企業を市内に誘致しました



新たな雇用創出への一手

3月28日、米保険大手アメリカ・インターナショナル・グループ(AIG)傘下のAIU保険(東京)・富士火災海上保険(同)など4社が長崎市内に開設する「長崎ビジネスセンター」の調印式がありました。

これにより、14年度中に事務職で200人程度の正規採用が予定され、今後ますますの雇用拡大が見込まれており、地域経済の活性化が期待されています。

■問い合わせ 産業雇用政策課(☎829-1313)

長崎市直営の 太陽光発電所が開所



年間発電量は一般家庭350世帯分

3月22日、県内初の自治体直営の大規模太陽光発電所「ながさきソーラーネット〔メガ〕三京発電所」の開所式が三京町で行われました。同所は三京クリーンランド埋立処分場敷地内約1万5,000平方メートルに整備され、九州電力に売電して得た収益で市民による環境活動を支援します。また、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減も期待され、地球温暖化やエネルギーに関する環境学習の場としても役立つと見込まれます。

■問い合わせ 環境政策課(☎829-1156)

長崎市表彰式 61人18団体を表彰



多年の功績に感謝を込めて

4月1日、長崎ブリックホールで長崎市表彰式を開催しました。長崎市政に功績のあった個人や団体を対象に市政功労表彰、市政協力表彰及び特別表彰を、合わせて61人18団体に授与しました。

表彰を受けたのは、自治会の役員として地域の振興に尽力されたかたをはじめ、民生委員として地域住民の相談指導に尽力されたかた、教育文化、防災などさまざまな分野で多年にわたり市政の発展に貢献したかたと、文化・スポーツなどで活躍されたかたです。

なお、市政功労表彰受賞

者の福地茂雄氏(アサヒグループホールディング株式会社相談役)による講話が行われ、長崎のまちづくりに関する貴重なお話をいただきました。

福地氏の講話の様子



市政功労表彰のかたは次のとおり(順不同・敬称略)。

〔地方自治〕 辻福義、渡邊一則、奥村修計、徳永絹代、重橋照久、倉本和美、中嶋正人、源城和雄、西田実伸、野口達也、五輪清隆、坂井みどり

〔商工〕 上田恵三、崎永剛

〔建設土木〕 宮路孝之進、岩永堅之進

〔教育文化〕 友田久平、福地茂雄、吉田恒雄、宮前ツル工、尾崎行宏、伊達木伸男、中村欽光、遠山幸治、永富廣子、吉田眞勝、長澤知徳、吉村正春、ゆりの会、ちびっこくち実行委員会

〔社会福祉〕 田中良一、木下政紀、山口智美代、松村正信、健康まつり実行委員会

〔保健・環境〕 中西弘樹 **〔交通安全〕** 後田繁子

〔防災〕 時津穂積、藤川義信、藤野敏光

■問い合わせ 秘書課(☎829-1110)

野母崎小中一貫「青潮学園」 入学式

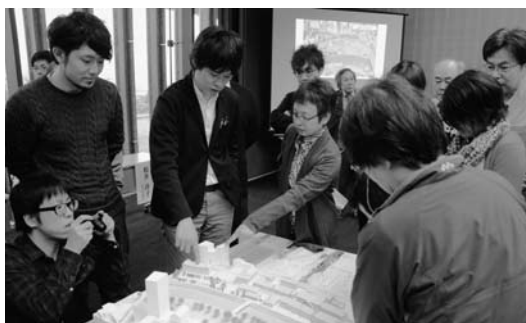


元気いっぱいに入場しました

4月9日、長崎市内で初の公立の小中一貫校「あおしお青潮学園」で、初めての入学式が行われました。開校初年度は新1年生23人と3月に旧野母崎小学校を卒業したばかりの新7年生(中学1年生)32人が入学しました。式では、新入生全員が担任の先生から名前を呼ばれ、初々しい声で返事をしました。また、新入生代表として新7年生の山口真歩さんが「勉強だけでなく部活動も頑張っていきたい」と誓いの言葉を述べました。

■問い合わせ 学校教育課(☎829-1195)

出島復元へ シンポジウムがスタート



多くの市民が参加し理解を深めました

3月29日、出島復元と表門橋架橋への理解を深めるために、第1回シンポジウムが県美術館で開催されました。

この日は、市民など約120人が参加。基調講演で、専門家がこれまでの復元の経緯を説明しました。また、専門家と市長がパネルディスカッションで今後の課題などについて意見交換を行いました。次回シンポジウムは8月頃を予定しています。

■問い合わせ 出島復元整備室(☎829-1194)